

科目名称：	IT基礎	
担当者名：	瀬戸 就一	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
現在の社会基盤である情報技術は、あらゆる場面で必要不可欠となっています。また、小学校でプログラミング教育が必修化されるなど、すべての人に情報やプログラミング的な考え方の基礎が必要であるという認識が高まっています。本授業では、情報の基礎的な考え方・プログラミングの考え方をわかりやすく学んでいきます。受講者数によってはグループワークを通して課題解決をする授業展開をしていきます。		
授業の達成目標・到達目標		
本講義の到達目標は、経済産業省の国家資格「ITパスポート試験」テクノロジ系分野のうち、「情報の基礎」「コンピュータのハードウェア」「ソフトウェア」「プログラミング」といった範囲の60%以上を正答できるようになることです。なぜならば、ビジネス分野における情報の基礎技術として最低限必要な知識となるからです。 期末試験では、上記の分野と同レベルの問題を問うことになり、これに合格するレベルを到達目標とします。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		○
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)	60		35	5	100
ビジネスDP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		
授業プリントや次回までの課題は、Google Classroomを利用して提出をしてもらいます。原則、授業プリントは授業の当日が締切で、次回までの課題は、次回授業の前日までとします。		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
情報技術に対する態度	現代の情報技術に対して好奇心を持って理解し、他者に説明しようとする態度	現代の情報技術に対してとても興味を持っている態度	現代の情報技術に対して興味を持っている態度	現代の情報技術は専門分野ではないという態度
情報技術に対する理解	授業内容について、考察が的確で、課題が大変にわかりやすく記載されている。	授業内容について、課題がとても分かり易く記載されている。	授業内容について、課題が分かるように記載されている。	授業内容について、課題の記載はあるものの、分かりにくい。
プログラミングの理解	プログラミングについてわかりやすく他者に説明できる。	プログラミングについて他者に説明できる。	プログラミングについて他者にだいたい説明できる。	プログラミングについて何とか他者に説明できる。
情報技術を利用する力	授業で得た知識を使い、情報技術を駆使できる。	授業で得た知識を使い、情報技術を大いに利用できる。	授業で得た知識を使い、情報技術をだいたい利用できる。	よく理解しないまま、情報技術を利用している。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第 1 回 ITとは・コンピュータの構成要素	本シラバスを精読し、まとめておくこと。	20分
第 2 回 CPUとメモリ	第 1 回のプリント復習。コンピュータ構成要素の課題。	40分
第 3 回 メモリと補助記憶装置	第 2 回のプリント復習。CPUとメモリ。	40分
第 4 回 入出力装置（ディスプレイ、プリンタなど）	第 3 回のプリント復習。補助記憶装置の課題。	40分
第 5 回 入出力インタフェース	第 4 回のプリント復習。ディスプレイの課題。	40分
第 6 回 10進数→2進数、2進数→10進数	第 5 回のプリント復習。入出力インタフェースの課題。	40分
第 7 回 演習 1（ディスカッションしながら、第6回の変換方法を理解する）	第 6 回のプリント復習。10→2進数、2→10進数の課題。	40分
第 8 回 ビットとバイト	第 7 回のプリント復習。演習1の課題。	40分
第 9 回 文字・画像・マルチメディアの表現方法	第 8 回のプリント復習。ビットとバイトの課題。	60分
第10回 ファイルとディレクトリ	第 9 回のプリント復習。文字・画像・マルチメディアの課題。	40分
第11回 ハードディスク（ハードディスクとその構造、フラグメンテーション、RAID）	第10回のプリント復習。ファイルとディレクトリの課題。	40分
第12回 OSとアプリケーション（OSの役割、アプリケーションソフト）	第11回のプリント復習。ハードディスクの容量計算の課題。	40分
第13回 プログラミング・アルゴリズム1 クイズに挑戦！（紙ベースでフローチャートをディスカッションしながら作成する）	第12回のプリント復習。OS、アプリケーションの課題。	60分
第14回 プログラミング・アルゴリズム2 Scratchで簡単なプログラミングに取り組む。（ディスカッションしながら演習を行う）	フローチャートを完成させ、Scratchについて事前に調べておくこと。	60分
第15回 総まとめ お互いに作成したプログラムを評価する。（ディスカッションしながら演習を行う）	プログラミングの復習問題。総合評価を行う。	120分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学習としては、次回までの課題プリント（小レポート）をまとめて、Google classroomに提出してもらう。

成績評価の方法・基準

定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
各回の授業内で行う「授業プリント」の提出解答状況を20%、「次回までの課題」状況を15%で評価する。
また、授業への貢献・積極的関与を5%で評価する。

課題に対してのフィードバック

「授業内プリント」「次回までの課題」プリントをGoogle Classroomのルーブリックで評価し、オンラインで返却する。

教科書・参考書

『キタミ式イラストIT塾 ITパスポート』、技術評論社。教科書の内容を解説し、授業内でプリントに記入していく。
コンピュータ・パソコンに関する本、ITパスポート試験に関する書籍はすべて参考となる。